

事業所における自己評価結果(公表)

児童発達支援

公表: 令和6年3月30日		事業所名 機構の会 こころ				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	0	用途に合わせてスペース分けをしている。		
	② 職員の配置数は適切である	6	0	利用者人数に応じて配置している。	より充実した環境づくり努めていきたい。	
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	4	目に見えて分かるよう、可視化しやすく配置等をしている。	玄関ドア、玄関スペースのけが防止、バリアフリーを検討したい。	
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6	0	丁寧な清掃、整理整頓を徹底している。		
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加している	6	0	目標設定と振り返りをしっかり行っている。		
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6	0	保護者アンケートを実施した。	内容や開催時期を検討し、継続していきたい。	
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6	0	毎年年度末に掲載している。	ご協力ありがとうございます。今後の施設運営の参考にさせていただきます。	
適切な支援の提供	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	6	0	評価をもとに改善を図っている。		
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	0	適宜研修やテストを行なっている。		
	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6	0	適宜アセスメント、モニタリングを行ない、作成している。		
	⑪ 子ども達の発達行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	0	共通のツールを使用している。		
	⑫ 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	具体的な内容を分かりやすく記載できるよう作成している。	より明確に、具体的な内容にできるよう、改善していきたい。	
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	計画に沿って行っている。		
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	0	計画作成に当たり、支援会議を行なっている。		
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6	0	状況に合わせて変更している。		
	⑯ 子ども達の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6	0	ニーズに沿って行っている。		
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	役割を明確にし、充実した準備を提供する準備を柔軟に対応できるようにしている。	タイムリーな出来事もあるため、柔軟に対応できるようにして、次回以降につなげていきたい。	
	⑱ 支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点を共有している	6	0	その日の出来事等を共有している。		
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	0	毎日、日報を作成し、記録している。		
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の進捗の必要性を判断している	6	0	半年に1回以上行っている。		
	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	6	0	児童官や担当がその状況に応じて参加している。		
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2	4	可能な限り行っている。	家庭によって様々なため、より精進	
	関係機関や保護者との連携	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等)を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0	6	医ケア児在籍なし。	
		㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等)を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0	6	医ケア児在籍なし。	
㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		2	4	可能な限り連携を図っている。	今後も継続して行なっていきたい。	
㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		3	3	可能な限り連携を図っている。	今後も継続して行なっていきたい。	
㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		4	2	研修や講習会、担合等に参加している。	今後も参加していきたい。	
㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		0	6	感染症等の影響で行えない。	可能な範囲内で検討したい。	
㉙ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		6	0	参加している。		
㉚ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている		6	0	送迎時やSNS、連絡帳でやり取りしている。		
㉛ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)の支援を行っている		2	4	困りごとの助言等を行なっている。	家庭によって様々なため、幅を広げていきたい。	
㉜ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている		6	0	契約時に行っている。		
保護者との説明責任等	㉝ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6	0	作成後に同意を得ている。		
	㉞ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6	0	適宜、行っている。		
	㉟ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	0	保護者交流会を開催した。	今後も継続して開催していきたい。	
	㊱ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合は迅速な対応を行っている	6	0	可能な限り対応している。		
	㊲ 定期的な会議等を開催し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	0	おたより等で発信している。	今後も継続して発信していきたい。	
	㊳ 個人情報の取扱いに十分注意している	6	0	十分注意している。		
	㊴ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6	0	協力して模索、検討している。		
	㊵ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	6	感染症等の影響で行えない。	可能な範囲内で検討したい。	
	非常時等の対応	㊶ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	0	契約時に伝えている。また、適宜実施している。	継続して実施していく。
		㊷ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	0	適宜行っている。	継続して実施していく。
㊸ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している		6	0	契約時に確認している。	継続して実施していく。	
㊹ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている		0	6	食物アレルギーの子がない。		
㊺ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		6	0	都度、作成、共有している。		
㊻ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		6	0	適宜実施している。	今後も継続して実施する。	
㊼ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記している		6	0	契約時に説明している。	今後も継続していく。	

〇この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

